

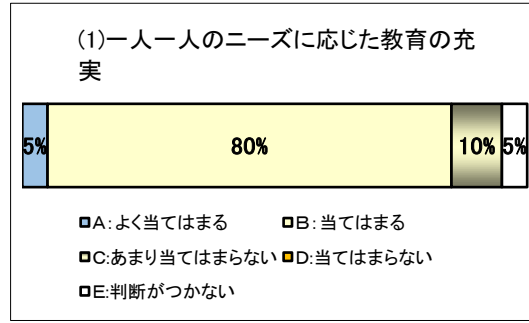
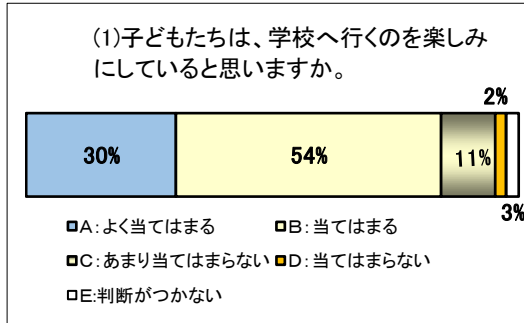
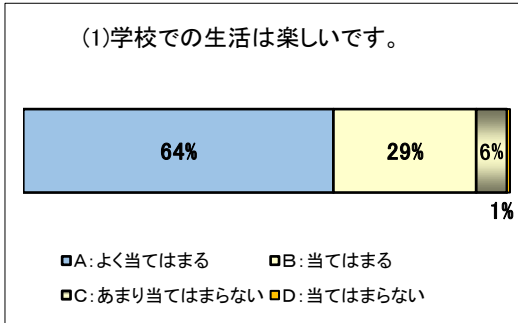
児童・保護者・教職員アンケート結果

令和4年3月11日

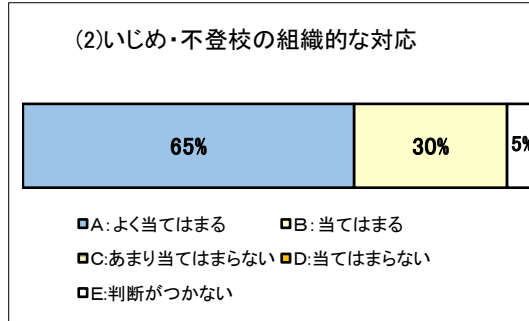
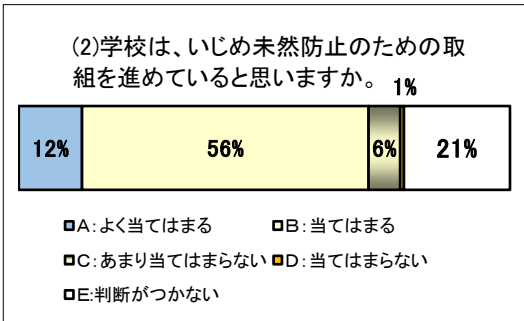
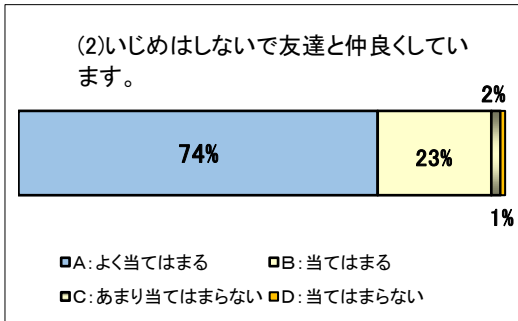
令和3年度 児童(回収率97%)

令和3年度 保護者(回収率84%)

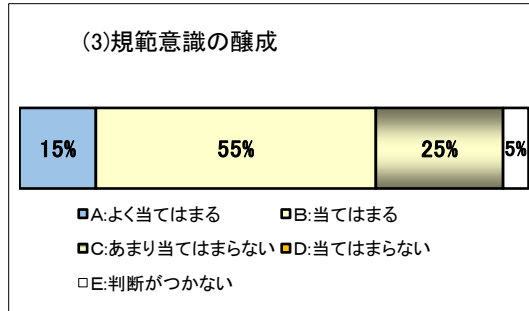
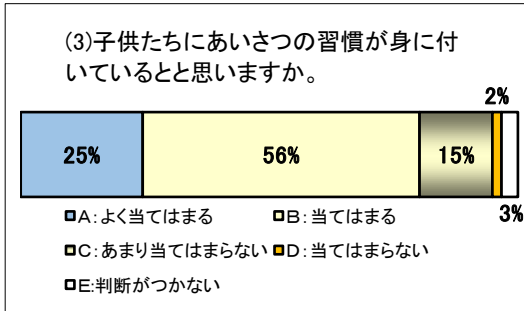
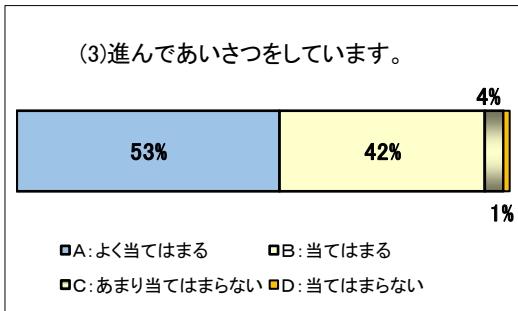
令和3年度 教職員(回収率100%)



(1)児童の肯定的な回答を93%となっているが、保護者の肯定的な回答は84%となっており、差がある。児童が主体的に諸活動に取り組んだり、「だれかの役に立っている」と感じさせたりする場面を創り出すことで、学校に行く楽しさを感じさせていきたい。



(2)教職員・児童の肯定的な回答が95%以上と高い割合でほぼ一致している。一方で、保護者の肯定的な回答は68%となっており、21%の保護者が「判断がつかない」と回答している。学校の取組の周知方法の工夫やいじめ問題を保護者と一緒に考えていくような仕組みづくりが必要である。



(3)児童の肯定的な回答が95%となっているが、保護者の肯定的な回答は81%、教職員の肯定的な回答は70%と、ばらつきがある。進んであいさつができる指導を継続するとともに、大人が範を示していくようにする。

【学校関係者評価委員会の意見】

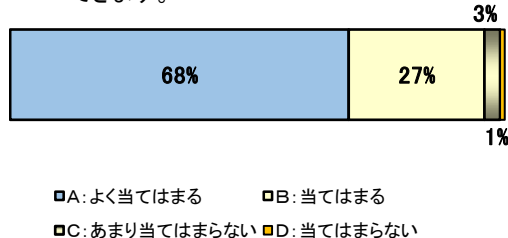
- ・しつこいくらい先生からあいさつをする。どうしても大人は子どもからのあいさつを待っていることが多いので、そこを意識改革するとよい。
- ・いじめに対する学校の取組及び子どもたちの反応はよい。継続した取組をお願いしたい。
- ・毎朝校長が校門で児童を迎えて声かけをしている。今後も、一人一人の児童に気を配る取組をお願いしたい。
- ・子供たちにとって「学校は楽しい」と思うことが一番大切である。
- ・いじめ、不登校等は学校で対応していると思うが、まだまだ不登校は多いと感じる。引き続き対応をお願いしたい。
- ・いじめ、不登校に関しては、子供が一番悩み、苦しんでいることを認識してほしい。学校、家庭が児童に寄り添い、信頼関係を築くような対応をお願いしたい。
- ・いじめ、不登校の原因は、大人から見ると些細なことかもしれないが、しっかりと子供の話を聞いて対応をお願いしたい。

令和3年度 児童

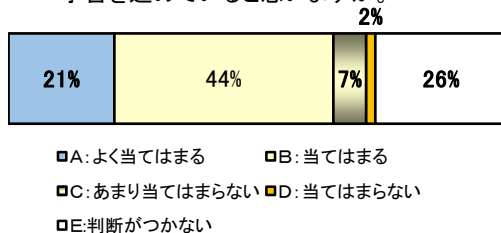
令和3年度 保護者

令和3年度 教職員

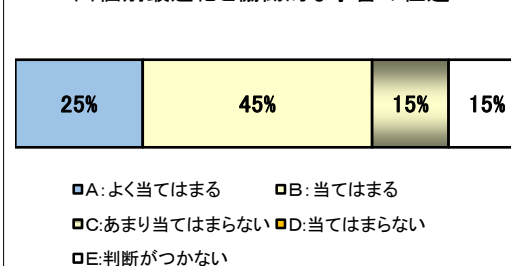
(4)必要な時に、タブレットを使って学習
できます。



(4)学校は、タブレットを効果的に使って
学習を進めていると思いますか。

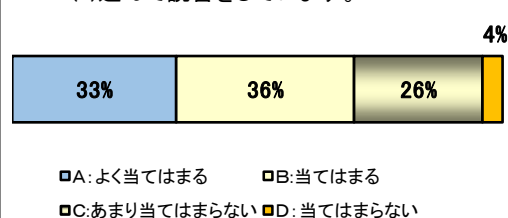


(4)個別最適化と協働的な学習の往還

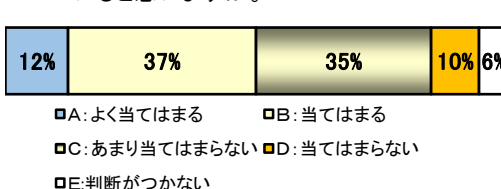


(4)児童の肯定的な回答が95%となっ
ている一方で、保護者の肯定的な回答
は65%となっており、「判断がつか
ない」との回答が26%と他の設問と比較
すると最も高くなっている。周知方法の
工夫をするとともに、教職員内でタブ
レット活用についての研修を行うなど、
より効果的な活用方法を模索していく。

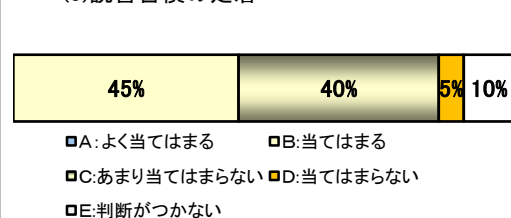
(5)進んで読書をしています。



(5)子供たちに読書の習慣が身に付いて
いると思いますか。

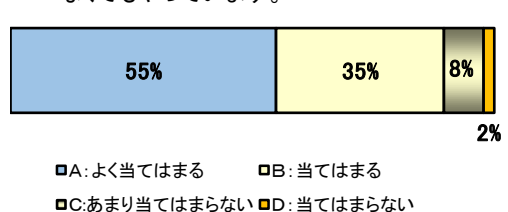


(5)読書習慣の定着

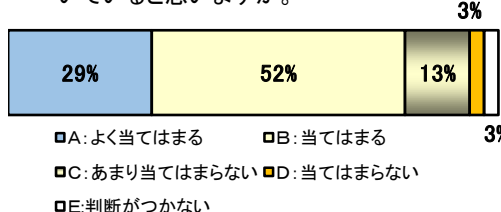


(5)肯定的な回答が、児童69%、保
護者49%、教職員45%となっており、
他の設問と比較すると最も低くなっ
ている。学校司書やPTA図書係などと連
携し、子どもたちが「本を読んでみた
い」と感じるような取組を工夫していく。

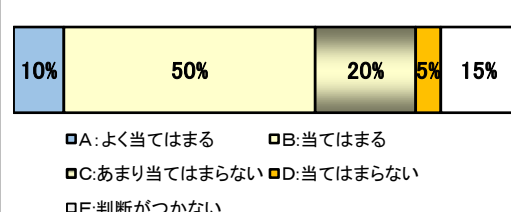
(6)家では、宿題や家庭学習を言われ
なくてもやっています。



(6)子供たちに家庭学習の習慣が身に付
いていると思いますか。



(6)系統性を踏まえた家庭学習



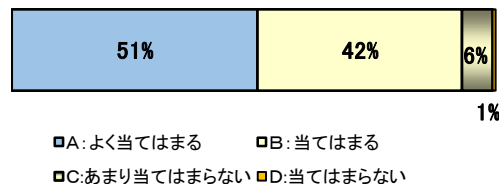
(6)児童の肯定的な回答が90%と
なっている一方で、保護者の肯定的な
回答が81%となっており、差がある。
年2回の強化週間を継続するとともに、
家庭学習の質が高まるような取組を工
夫していく。

【学校関係者評価委員会の意見】

- ・学校司書の役割が大切である。「読書福袋」の活動を更に進めるとよい。また、豊川コミセンの図書室の利用を検討してはどうか。
- ・新たな授業形態としてのタブレットの活用について、「とある男が授業をしてみた」などの好事例を参考に進めるとよい。
- ・保護者から家庭学習について様々な意見があるが、子どもたちの学ぶ機会をつくることはよいことだと思うので、取組を継続してほしい。
- ・子供が家でパソコン操作をする姿から、学校で親しんでいる様子がわかる。
- ・宿題や家庭学習は親に言われてやっているが、これは親の役割である。
- ・保護者に対して、タブレットを活用した学習をもっと具体的に知らせたり、参観日などで見てもらったりするとよい。また、タブレットのよさをアピールする取組も行ったらい。
- ・家庭でのスマホ等の普及によりタブレットを活用した学習は楽しくできていると感じるが、学習習慣が身に付いているかどうかで学力差が生じていると感じている。
- ・学級閉鎖等の際、子供たちがオンラインで授業を受けられるように、タブレットのさらなる活用を図るとよい。

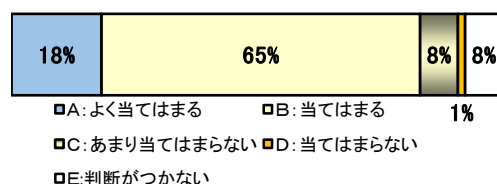
令和3年度 児童

(7)「学習のやくそく」と「生活のやくそく」を守っています。



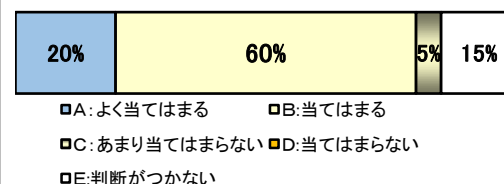
令和3年度 保護者

(7)子供たちは校内外のきまりを守っていると思いますか。



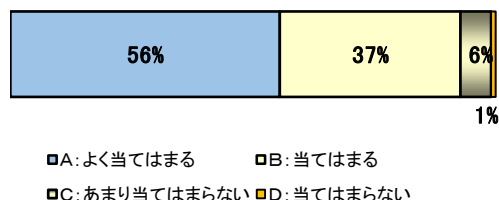
令和3年度 教職員

(7)発達の段階を踏まえた「学び合い」

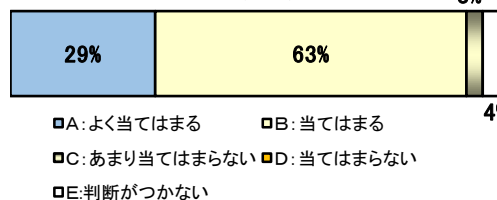


(7)児童の肯定的な回答が93%となっているが、保護者の肯定的な回答が83%となっており、差がある。児童や保護者にわかりやくきまりを提示・説明することを心がけるとともに、きまりを守ることでみんなが気持ちよく生活できることを児童に実感させるような取組を工夫していく。

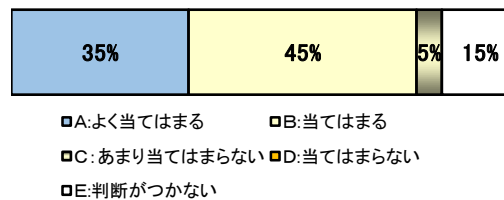
(8)授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいます。



(8)学校は、読み・書き・計算など基礎・基本が子供たちに定着するように指導していると思いますか。



(8)主体的・対話的で深い学びを視点とした授業改善



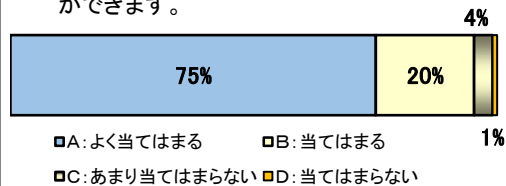
(8)児童の肯定的な回答が93%、保護者の肯定的な回答が92%となっており、ほぼ一致している。研修部を中心に主体的・対話的で深い学びの授業改善に組織的・継続的に取り組んだ成果がうかがえる。感染症対策を講じながらの学び方について、さらに研修を深めていく。

【学校関係者評価委員会の意見】

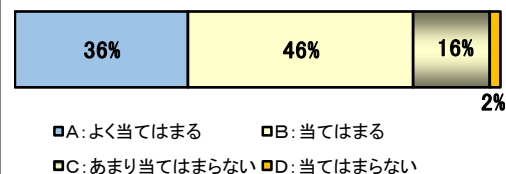
- ・「話し合い」がないと授業は深まらない。コロナでマスクをしたままでは難しいと思うが、工夫して行ってほしい。
- ・「書く」ことで学びを深めることに少しずつシフトすることも検討したらよい。
- ・自分が子供のころと比べると、随分と児童主体の授業に変わったと感じる。
- ・学習について、高学年になるにつれて差がついてくる。子供自身が「わからない」と言えないことも多いので、個別的な指導の充実を期待する。
- ・子供たちが自分で考え、決める習慣を身に付けさせていきたい。

令和3年度 児童

(9)運動会などの行事や児童会活動、プロジェクト活動に、進んで取り組むことができます。

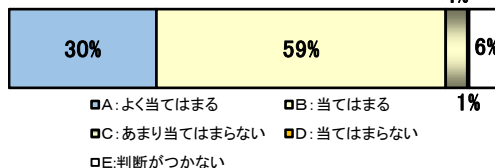


(10)家では、「早寝・早起き・朝ごはん」を守り、テレビやゲームなどの遊びの時間が長くないように気を付けています。

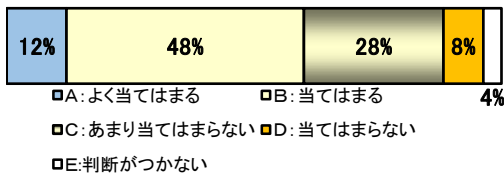


令和3年度 保護者

(9)運動会などの学校行事や児童会活動は、子供たちが意欲的に取り組める活動になっていると思いますか。

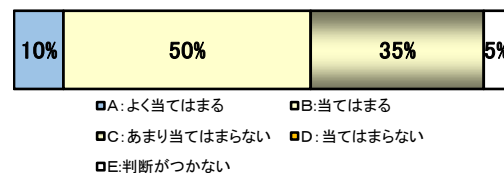


(10)子供たちは「早寝・早起き・朝ごはん」を守り、テレビやゲームなどの時間が長くないようにしていると思いますか。

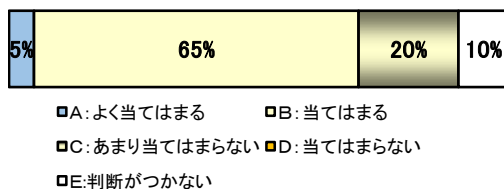


令和3年度 教職員

(9)プロジェクトによる学校行事と児童会活動



(10)子供と向き合う時間の確保



(9)児童の肯定的な回答が95%、保護者の肯定的な回答が89%と高い割合となっている。児童が主体となる学校行事の工夫を継続するとともに、感染症対策を講じながらも、今年度よりも質・量の向上を図る努力をしていく。

(10)児童の肯定的な回答が82%となっているが、保護者の肯定的な回答は60%にとどまっており、大きな差がある。市教委が作成している資料や諸調査のデータ等を基に、家庭での生活習慣の改善・向上につながるような働きかけをしていく。

【学校関係者評価委員会の意見】

- ・思いっきり体を動かさせてあげたい。心と体のストレスを発散させられるような活動を日々の教育活動に取り入れられたらよい。
- ・学校行事について、コロナ禍の中でも色々な工夫をしてよい。
- ・「子どもと向き合う時間の確保」では、具体的な取り組みが行われているが、結果を知りたい。
- ・コロナに対応した様々な工夫をした学校行事を企画している。子供たちが前向きに取り組む姿勢が身に付くことを期待している。
- ・コロナの終息が見えない中、よくやっていると思う。学習発表会等を実際に参観することで子供たちの成長を感じることができた。
- ・コロナ禍で、学校行事を以前と違った形で行うことになることが多いと思うが、工夫して取り組むことで、子供たちにチャレンジする気持ちの大切さや楽しさを養う力になる。

【その他 学校関係者評価委員会の意見】

- ・コロナ禍の学校経営、大変なことだと思う。先生方の苦労はよくわかる。子どもたちの未来のために新たな教育の在り方を模索することに期待する。
- ・スケートリンクの造成・運営を父親の会で行えないか検討したい。
- ・コロナ禍での学校活動には苦勞すると思うが、引き続き対応をお願いしたい。
- ・毎月数回、子供たちの見守り活動をしているが、子供たちは寒さに負けず大きな声であいさつしてくれる。子供たちからパワーをもらっているの、今度も引き続き指導をお願いしたい。

学校関係者評価委員会

学校評議員(3名) 主任児童委員(2名)
PTA会長 PTA副会長(3名)
校長 教頭